

公共下水道の整備区域が広がります

今年度は、桜井町・堀内町・東町・古井町・安城町・榎前町・城ヶ入町・桜井駅周辺土地区画整理地区のそれぞれ一部の区域に下水道を整備します(左図参照)。該当区域に土地を持つている人には「受益者負担金」を賦課します。

らかが受益者になります。

ことで、下水道整備の促進につなげています。

■受益者負担金

下水道を整備すると、生活排水を下水道管へ直接流すことができ、生活環境の改善につながります。下水道は道路や公園などの公共施設とは異なり、利用できる人(受益者)は整備区域内の土地の所有者や権利者に限られます。その公平を図るのが「下水道事業受益者負担金」です。受益者が下水道建設費の一部を「受益者負担金」として負担する

■計算方法

負担金は、その土地に対して一度限りのものです。

■対象

下水道整備区域のすべての土地

■金額

1㎡あたり350円

■納付方法

分割納付(年2回ずつ5年間、計10回)一括納付があり、一括納付をする

■例

200㎡(約60坪)の土地の負担金額

350円×200㎡=7万円

分割納付↓7000円×10回

一括納付↓5万8660円

(報奨金1万1340円を差し引いたもの)

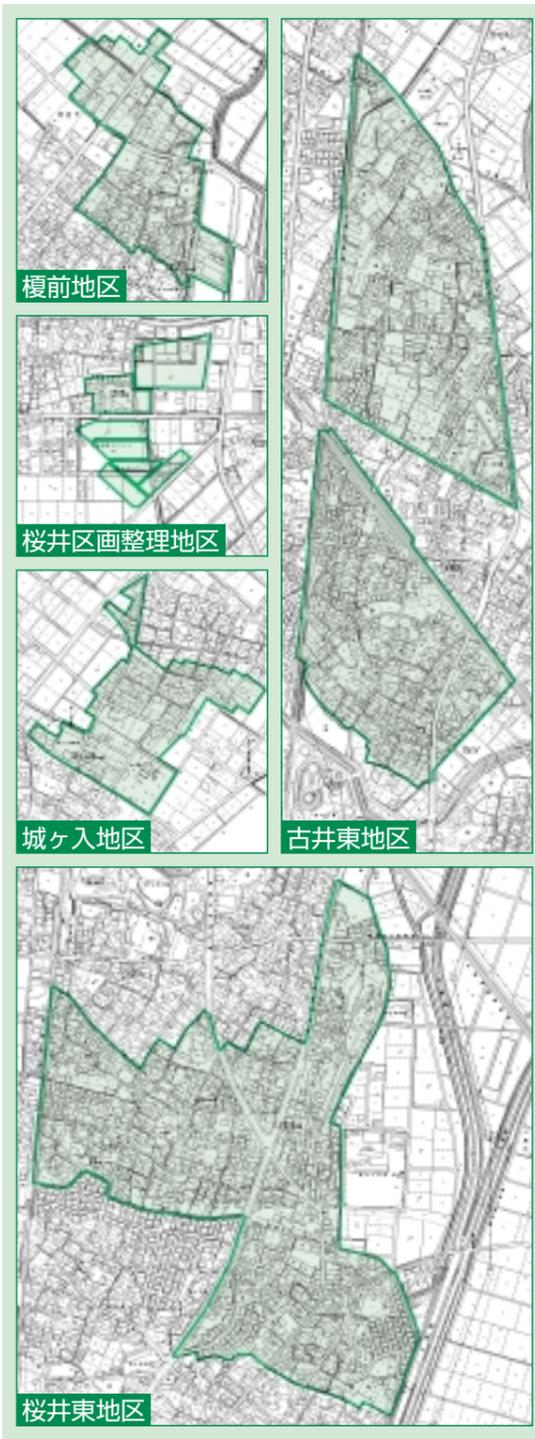
■説明会を開催

受益者負担金制度と納付までの手続きについて

※詳細は対象者に後日通知します。

350円×200㎡=7万円
分割納付↓7000円×10回
一括納付↓5万8660円
(報奨金1万1340円を差し引いたもの)

問い合わせ▼
下水道管理課
(☎712247)



緑に関する補助制度をご利用ください

- 生垣等設置奨励補助金
- 松くい虫薬剤防除補助金
- 松くい虫被害木自主駆除補助金など
- 問い合わせ 公園緑地課(☎712244)

地球を救う緑の募金にご協力を

4・5月に緑の募金「家庭・学校・企業・街頭募金」を実施します。公共施設に「緑の募金箱」を備えます。皆さんのご協力をお願いします。※募金の一部は地域緑化として地元へ還元し、各町内の緑化事業に活用されます。

問い合わせ 公園緑地課(☎712244)

地球にやさしい暮らしを応援 浄化槽の設置に補助

●対象 次の対象地域(※)で、専用住宅または居宅部分の床面積が延べ床面積の2分の1以上ある併用住宅に浄化槽を設置する人

●補助金申請の手続きを行うてください。 ●補助金申請は予算の範囲内で先着順(4月1日㈫)から。(出)例(例を除く)に受け付けます。

- 対象地域 ↓公共下水道認可区域(当該年度内に認可が見込まれる区域を含む)以外の地域と農業集落排水処理区域以外の地域
- 補助金額 下表参照
- その他 補助対象地域など、事前に確認のうえ、必ず工事前に

問い合わせ▼
清掃事業所
(☎763053)

人 槽	窒素除去型 浄化槽	窒素 ^{たん} 除去型 浄化槽
5人槽	25万5000円	52万5000円
6～7人槽	28万5000円	69万円
8～10人槽	34万5000円	96万円
11人槽～	60万円	166万5000円

「安城いきいきたい肥」受け取り希望者を募集

総量50トン(1世帯300kg以下)を限度に受け取り希望者を募集します。

- 受け取り期間 5月1日(金)～16日(土)(例を除く)
- 受け取り方法 たい肥を直接積み込める4トン以下のトラックまたは袋を持参して、せん定枝リサイクルプラントへ※袋持参の場合、スコップをお貸しします。

●その他 応募者多数の場合は抽せん

●申し込み 4月16日(木)まで(出)を除く)に、住所・氏名・電話番号・希望数量(kg)・たい肥を使用する畑などの面積またはプランターなどの個数を記入し、持参・郵送・ファクス・Eメールで清掃事業所(〒441-1155堀内町西新田2/☎713118/☎)

問い合わせ▼
清掃事業所
(☎763053)

平成20年度エコライフキャンペーン結果をお知らせします

今年度は、あなたもぜひ挑戦を!

■夏編 節水にチャレンジ! 実施期間 昨年6～9月のうちの2か月間

●目標 2か月分の使用水量を、前年度同時期より減らす

●参加世帯 81世帯

●減量成功世帯 48世帯

●節水効果 2か月分の使用水量計2476㎡(前年比274㎡の削減)

●節水への取り組み例

●食器を「流し洗い」から「ため洗い」に切り替え

●雨水、エアコン・除湿機の排水、食器洗いで使用した水などを水やり利用

●蛇口から出る水量を減らす

●トイレの水を流す際むやみに「大」を使用しない

●入浴時の湯を半身浴ぐらいの水位にする

●バケツに水をくんで洗濯

●枝豆を、鍋ではなくフライパンで蒸しゆでにする

●家族で心を合わせて話し合い、節水に取り組む

■冬編 節電にチャレンジ! 実施期間 昨年12月～今年1月のうちの1か月間

●目標 1か月分の電気使用量を、前年度同時期より減らす

●参加世帯 81世帯

●減量成功世帯 42世帯

●節電効果 1か月分の電気使用量計2万8360キロワット時(前年比1748キロワット時の削減)

●節電への取り組み例

●湯たんぽを積極的に利用

●電化製品は主電源から切る

●できるだけ外に出かける

●掃除機をやめ、ほうきを使用

●沸かしたお湯は水筒に保存

●冷蔵庫内にカーテンを取り付ける

●電子レンジを使わず、自然解凍に心がける

●家族みんな一部屋に集まる

問い合わせ▼
環境首都推進課
(☎712206)

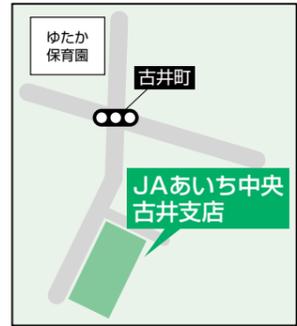
問い合わせ▼
清掃事業所
(☎763053)

乾燥生ごみと野菜の交換



乾燥生ごみ1kg分と野菜100円分を交換しています。

翌月になります。
●ところ JAあいち中央古井支店
●場所 古井支店
ゆたか保育園



■そさいクラブ(箕輪町)

●とき 毎月5日・15日・25日
午前6時～11時ごろ

●ところ JAあいち中央箕輪支店跡地



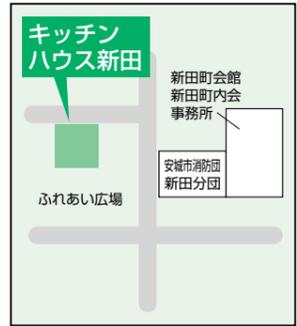
●ひばり会(古井町)
●とき 毎月5日・25日午前8時～10時
※5日・25日が(休)の場合は、

■新田ふれあいクラブ(新田町)

●とき 4～10月↓毎週(火)午前6時～8時30分、11月～来

年3月↓毎週(火)午前6時30分～8時30分

●ところ キッチンハウス新田



●問い合わせ
清掃事業所
(☎76)3053

生ごみ処理機・たい肥化容器(コンポスト)購入に補助

家庭の台所から排出される生ごみの減量化・たい肥化推進を目的として、生ごみ処理機・たい肥化容器の購入に、補助金を交付します。

●対象 市内在住の人

●補助金額 平成21年4月1日購入分から購入価格(消費税含む)の3分の2。購入機器の区分により、補助限度額を定めています。

●バイオ式生ごみ処理機↓4万

●乾燥式生ごみ処理機↓3万5000円

●たい肥化容器(コンポスト)↓7000円

●その他

●市内の販売店で購入したものに限り
●補助金の申請期限は、購入後1か月以内
●販売店発行の領収書が必要
※申請用紙は、販売店・清掃

住宅用太陽光発電システム設置費・住宅用太陽熱高度利用システム設置費を補助

●申し込み 申請用紙を記入し、4月20日(月)からの午前8時30分～午後5時15分(土)(日)(例を除く)に環境首都推進課へ

●申請用紙は、同課・市公式ウェブサイトで配布。

●住宅用太陽光発電システム設置費補助制度

●対象 市内在住で、自ら居住する市内の住宅に4月1日(休)～来年3月31日(休)に同シ

●補助金額 10万円×太陽電池モジュールの最大出力値(キロワット)
※1000円未満切り捨て。
●補助条件 同システムの工事着工前に申請し、年度内に設置完了すること
※昨年4月1日～今年3月31日に設置または着工した人は、来年3月31日(休)まで申請できます。

事業所・市公式ウェブサイトで配布。
●申請方法は、販売店・清掃事業所でご確認ください

●問い合わせ
清掃事業所
(☎76)3053

●住宅用太陽熱高度利用システム設置費補助制度

●対象 市内在住で、自ら居住する市内の住宅に太陽熱高度利用システムを設置した人
●補助金額 1万6000円×同システムの総面積(m²)
※1000円未満切り捨て。

●問い合わせ
環境首都推進課
(☎71)2206

環境首都をめざしたまちづくりを山田副市長と一緒に考えよう あんじょう環境大学院開講

●とき/内容/講師 下表のとおり
●ところ 文化センター
●対象 市内在住・在学・在勤の人
●定員 30人(定員を超えた場合は抽せん)

●申し込み 4月6日(月)～14日(火)午前8時30分～午後5時15分に、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、電話・ファクス・Eメールで環境首都推進課(☎71)2206/☎76)1112/kankyo@city.anjo.aichi.jpへ

回	とき	内容	講師
1	5月13日(火)	持続可能な社会像～もったいない滋賀の実現に向けて	内藤正明氏(滋賀県琵琶湖環境研究センター長、京都大学名誉教授)
2	5月27日(火)	オイルピークと環境問題の本質	石井吉徳氏(元国立環境研究所所長、東京大学名誉教授)
3	6月3日(火)	自転車のみちをつくろう	小林成基氏(NPO自転車活用推進研究会理事長)
4	6月26日(金)	食品廃棄物とリサイクル～生産・流通・消費者の協働でできること	伊藤慎一氏(山崎製パン株式会社安城工場長) 百瀬則子氏(ユニー株式会社業務本部環境部長)
5	7月7日(火)	都会の百姓～都市型農業体験農園の取り組み	白石義孝氏(農業体験農園「大泉風のがっこう」園主)
6	7月21日(火)	日本の農と食をどうするか?～日本の食料自給率と国際戦略	長野麻子氏(農林水産省秘書課課長補佐)
7	8月7日(金)	日本の森林と林業の現状	小木曾亮弐氏(根羽村村長)

問い合わせ▶環境首都推進課(☎71)2206

鉄崎幹人さんと学ぼう! あんじょうエコスクール



アウトドアタレント 鉄崎幹人氏

自然・いきもの・いのちについて考える体験型講座です。

●とき/ところ/内容/講師 下表の通り(全7回、いずれも午前9時～午後4時)

●対象 市内の小学4～6年生とその保護者

●定員 25組(定員を超えた場合は抽せん)

●持ち物 弁当・水筒
●その他 別途教材費が必要な場合あり

●申し込み 4月6日(月)～14日(火)に、住所・氏名・学校名・学年・電話番号を記入し、電話・ファクス・Eメールで環境首都推進課(☎71)2206/☎76)1112/kankyo@city.anjo.aichi.jpへ

●問い合わせ
環境首都推進課
(☎71)2206

回	とき	ところ	内容	ゲスト講師
1	5月9日(土)	秋葉公園	開校式、秋葉公園散策	-
2	5月30日(土)	矢作川	川の学校	阿部夏丸氏(生きもの作家)
3	8月1日(土)	一色干潟ほか	海の学校	碧南海浜水族館学芸員
4	10月10日(土)	トヨタエコの森	森の学校	エコの森インタープリター
5	12月5日(土)	矢作川河畔ほか	鳥の学校	杉山時雄氏(西三河野鳥の会)
6	来年1月16日(土)	未定	講演「いのちとしぜん」	林正道氏(海洋生物学者)
7	来年2月13日(土)	未定	卒業式	-

※そのほか5月23日(土)、9月26日(土)に農業体験を予定。

流域モニタリング

一斉調査の参加者を募集

●対象 2人以上のグループ
※小学生は保護者同伴。

●とき 6月5日(金)環境の日(の前後一週間)

●調査内容 身近な水辺(河川、湖沼、海、水路、ため池など)で「水質」、「水量」、「生態系」、「水辺の親しみやすさ」について調査・報告

●申し込み 4月1日(火)～30日(火)午前8時30分～午後5時15分(土)(日)(例を除く)に清掃事業所(☎76)3053へ

※募集案内は同所で配布。

